



2027年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年9月14日

上場会社名 株式会社T O ブックス 上場取引所 東
コード番号 500A URL <https://tobooks.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 本田 武市
問合せ先責任者（役職名） 取締役コーポレート本部長（氏名） 鳥海 裕喜（TEL）03（6452）5765
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2027年4月期第1四半期の業績（2026年5月1日～2026年7月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年4月期第1四半期	3,320	—	446	—	450	—	292	—
2026年4月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年4月期第1四半期	83.31	76.16
2026年4月期第1四半期	—	—

（注）当社は、2026年4月期第1四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、2026年4月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2027年4月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年4月期第1四半期	9,678	7,302	75.4
2026年4月期	10,441	7,273	69.6

（参考）自己資本 2027年4月期第1四半期 7,300百万円 2026年4月期 7,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年4月期	—	0.00	—	76.00	76.00
2027年4月期	—				
2027年4月期（予想）		0.00	—	76.00	76.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年4月期の業績予想（2026年5月1日～2027年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	12,500	6.0	1,900	△4.3	1,900	△2.8	1,300	△0.8	369.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料P. 6 「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年4月期1Q	3,521,800株	2026年4月期	3,516,400株
② 期末自己株式数	2027年4月期1Q	一株	2026年4月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年4月期1Q	3,516,517株	2026年4月期1Q	一株

- (注) 当社は、2026年4月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

- ※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 経営成績等の概況

当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

経営成績の概況

当社は、“もっと物語を届ける——。”という経営理念のもと、小説・コミックスを起点としたIPの創出と、アニメ・舞台・グッズ等へのメディアミックス展開を一貫して行う体制を強みに事業を展開してまいりました。

出版市場におきましては、紙の出版が縮小する一方で電子出版が拡大しており、公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所によると、2026年上半年期（1月～6月）の電子出版市場は前年比2.0%増の2,867億円となりました。こうした市場構造の変化は、当社の主力であるライトノベル・コミックス分野にもプラスに作用しております。

このような事業環境のもと、当社ではIPの「紡ぐ」機能（企画・編集・書籍化）と「届ける」機能（アニメ化・舞台化・商品化等）を連動させ、アニメ化タイトルを中心に書籍・コミックスの販売が堅調に推移しました。2026年4月より放映が開始したTVアニメ『本好きの下剋上～司書になるためには手段を選んでいられません～ 領主の養女』におきましては、全国ネットの土曜日夕方枠での放送により、従来のファン層に加え新たな視聴者層の獲得が進み、作品認知度が大きく向上いたしました。これに伴いIP全体のファン層拡大が図られ、原作書籍及びコミックスの販売等へ好影響・相乗効果をもたらしております。直近では2026年7月よりTVアニメ『ヒロイン？聖女？いいえ、オールワークスメイドです（誇）！』の放映が開始され、原作書籍やコミックスの販売増加に寄与しております。

結果として、当第1四半期累計期間の売上高は3,320,133千円、営業利益は446,189千円、経常利益は450,437千円、四半期純利益は292,957千円となりました。

なお、当社はIP創出・展開事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて763,731千円減少し、9,678,262千円となりました。

流動資産は、現金及び預金が491,704千円、売掛金が98,397千円、その他流動資産が180,290千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて751,904千円減少し、8,682,932千円となりました。

固定資産は、有形固定資産が10,183千円減少したこと等により、前事業年度末から11,826千円減少し、995,329千円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べて792,974千円減少し、2,375,427千円となりました。

流動負債は、買掛金が54,140千円、未払法人税等が506,437千円、その他流動負債が236,814千円減少したこと等により、前事業年度末と比べて792,974千円減少し、2,375,427千円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ29,243千円増加し、7,302,834千円となりました。これは主に配当金の支払いにより利益剰余金が267,246千円減少したものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が292,957千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年4月期の業績予想につきましては、2026年6月15日の「2026年4月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表しました通期の業績予想から変更はございません。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,663,794	5,172,089
売掛金	2,455,493	2,357,096
商品及び製品	374,023	388,042
仕掛品	72,162	76,631
その他	869,363	689,072
流動資産合計	9,434,836	8,682,932
固定資産		
有形固定資産	378,286	368,103
無形固定資産	34,805	32,081
投資その他の資産	594,064	595,144
固定資産合計	1,007,156	995,329
資産合計	10,441,993	9,678,262

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	841,251	787,110
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	613,952	107,515
賞与引当金	25,340	24,857
その他	1,587,858	1,355,943
流動負債合計	3,168,401	2,375,427
負債合計	3,168,401	2,375,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	894,178	895,959
資本剰余金	891,178	892,959
利益剰余金	5,485,755	5,511,466
株主資本合計	7,271,111	7,300,386
新株予約権	2,479	2,447
純資産合計	7,273,591	7,302,834
負債純資産合計	10,441,993	9,678,262

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
売上高	3,320,133
売上原価	1,115,839
売上総利益	2,204,294
販売費及び一般管理費	1,758,105
営業利益	446,189
営業外収益	
受取利息	4,650
その他	77
営業外収益合計	4,728
営業外費用	
支払利息	393
その他	86
営業外費用合計	480
経常利益	450,437
税引前四半期純利益	450,437
法人税、住民税及び事業税	157,479
四半期純利益	292,957

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第1四半期累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社の事業セグメントは、IP創出・展開事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	16,456千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。